競　技　注　意　事　項

1　この大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。なお、**競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用を認めない。ただし、サークルから行われる投てき種目用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。**

2　招集について

(1) 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。

(2) 種目別の招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 招集の手順

①出場選手は、招集場に掲示した実施種目の一覧表を確認し、記載事項に誤りがあれば競技者係にその旨を伝える。

②招集開始時刻までに招集場で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、アスリートビブスとスパイクのチェックを受け、トラック競技（リレーを除く）のうち、800m までの決勝種目では別アスリートビブスを、1500m 以上の種目では別アスリートビブスと別腰ナンバーを受け取ること。

③点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に 2 種目以上出場する者は、必ず**事前（第１種目の招集完了時刻まで）に招集場で競技者係から多種目同時出場届を受け取り、必要事項を記入のうえ提出し**、許可を得ること。その際、**招集に来ることができない種目の点呼(アスリートビブス、腰ナンバー、スパイクシューズ等の点検)を受けておくこと**。

④招集完了時刻に遅れた競技者は、出場の意志がないものとして処理する。

3　トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の上から下へとする。

4　リレーのオーダー用紙は、**招集場で競技者係から受け取り**、必要事項を正しく記入し、**招集完了時刻の１時間前までに競技者係に提出する**。

5　棒高跳用ポールは各自が持参のものを使用し、投てき用具は競技場のものを使用する。但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとするが、その際の用具については、**競技開始時刻の１時間前に本部横で検査を行う**。

6　競技場で使用するスパイクピンの長さは９㎜以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は 12 ㎜以下の全天候型ピンとする。**先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する**。

7　練習については、補助競技場が付設されていないため、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切禁止する。

8　走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとするが、**練習の高さや開始の高さについては、選手の実情に応じて設定する**。

走高跳　男子　　1m75 までは 5 ㎝きざみ　1m78 から 3㎝きざみ

　　女子　　1m45 までは 5 ㎝きざみ　1m48 から 3㎝きざみ

棒高跳　男子・女子　2m00 から 10 ㎝きざみ

※　順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は 2㎝、棒高跳は 5 ㎝とする。

9　個人情報の取り扱いについて、本大会に関して寄せられた個人情報は本大会の目的以外には使用しない。なお、参加申込の提出により、個人情報のプログラムや掲示板への掲載や、本大会が認めた報道機関に公表し新聞等で公開されることを承諾したものとみなす。